

3月定例会

平成21年度一般会計当初予算は

総額29億700万円

(前年度比1.1%増)

20年度3月定例議会が、3月10日から17日までの8日間にわたり開催され、条例の一部改正や町有財産の無償貸付、平成21年度各会計当初予算案等46議案が提案され、可決されました。

平成21年度一般会計当初予算の総額は29億700万円で、新規事業として、移動通信用鉄塔施設整備事業、藤琴ニツ井線歩道補修事業が計上されたほか、藤琴地区ほ場整備事業、林道米代線開設事業等が継続分として実施されます。

行政報告

◆優良町村表彰について

2月20日秋田市で開催された、秋田県町村会定期総会において、『藤里町』が全国町村会の優良町村として表彰の伝達を受けましたので報告します。

表彰の事績は、「緑と魅力あふれる町・ふじさと」の基本構想のもと、うるおい・豊かさ・やすらぎを実感できる町をめざして各種ビジョンの実現に向けて進んでいることが評価されたものです。

ビジョンの概要は、①「ふれあいあふ

れる美しい町づくり」世界自然遺産白神山地の麓の町として、最も上流の町としての下水道事業への取り組み。②「活力に満ち豊かに暮らせる町づくり」自然景観や歴史、文化とのふれあいに対する志向が高まっている中で、エコ・グリーンツーリズム事業を推進し、交流人口の増加を核とした体験・滞在型の観光を勧めている。③「健やかで明るくやさしい町づくり」高齢者へのきめ細かな福祉サービスの提供や育児支援として、3歳児未満児保育園、幼稚園の延長保育、小学校放課後の学童保育等地域ぐるみの子育て支援の環境整備の実施。④「こころ豊かな未来を担う人づくり」郷土愛に満ちた子どもを育成するための、小・中学校での町の自然資源、環境を活かした学習。文化財・郷土芸能を次代に継承するため、継承者の掘り起こしを図りながら児童生徒が学ぶ機会や場の拡充に努める。⑤「高度情報化社会に対応した町づくり」白神山地に訪れる観光客に不便をかけたための、携帯電話の不感地域の解消。また、町全城の光ファイバー網の敷設な

歳入

【予算規模：29億700万円】

(単位：万円)

